

2011年3月10日

報道・マスコミ各社、記者の皆様

「戦争と医の倫理」の国際シンポジウム（4/9：東京大学）

及び、パネル展示（4/2～10：明治大学等）に関する

報道・マスコミ各社、記者との懇談会のご案内

拝啓 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。当会は、「日本の医学者・医師等がかつての戦争中に731部隊等で行った「人体実験」などの非人道的行為を、医学界が史実にそって検証し、その教訓を明らかにすること。及び、そのことを通じて、人間の尊厳や人権を基本とするこれからの医学・医療の発展に寄与することを目的」として活動している団体です。

私たちは、4月に東京で開催される第28回日本医学会総会の企画として前述の課題を具体化されるよう日本医学会総会に要請しましたが、企画にまでは至っていません。

このため当会では、独自に「戦争と医の倫理」に関する検証作業を進め、4月2日（土）～10日（日）に、検証資料のパネル展示（明治大学平和教育登戸研究所資料館との共催）、及び4月9日（土）には、東京大学で聖路加国際病院理事長・日野原重明氏の特別講演、ドイツからTill Bastian氏（医師、作家、平和活動家、郡会議員。著書「恐ろしい医師たち—ナチ時代の医師の犯罪」など）を招いての国際シンポジウム（「戦争と医の倫理」—ドイツと日本の検証史の比較）を開催します。

特にドイツとの検証史の比較から「医の倫理」に関わる教訓や課題を明らかにするシンポジウムは、医療界でも稀有な企画であり、日独交流150周年の事業としてドイツ大使館からも認定されるなど、国際的にも注目されています（同封のチラシをご参照下さい）。

つきましては、表題の企画等に関する説明と懇談の機会を予定しましたので、ぜひともご参加いただきたくご案内申し上げます。

敬具

記

- ◇日 時 2011年3月22日（火）午後2時～4時
- ◇場 所 全国保険医団体連合会 6階会議室（住所等連絡先、案内図は次頁参照）
- ◇内 容 「戦争と医の倫理」に関するパネル展示、国際シンポジウムの企画等について
- ◇出席者 西山勝夫代表世話人（滋賀医科大学名誉教授）、小俣和一郎常任世話人（上野メンタルクリニック院長）、住江憲勇事務局長（全国保険医団体連合会会長）等

<お願い>

- ①懇談会にご参加いただける場合は、別紙の参加用紙にご記入の上、FAX等でご返信下さい。
- ②報道各社、記者の皆様には、開催の事前報道や、当日の取材と報道についてもよろしくお願

「戦争と医の倫理」の検証を進める会（事務局：室井正・小林耕治）行

<送付・送信先>

恐縮ですが、下記の連絡用紙にご記入のうえ、3月17日（木）までにご返信いただければ幸いです。

FAX 03-3375-1862 または

e-mail tadashi-mri@doc-net.or.jp

3月22日（火）「戦争と医の倫理」の企画に関する

「報道・マスコミ各社、記者との懇談会」

参加申し込み報告用紙

申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

御社名 _____

部署名 _____

お名前 _____ 様